

▶感謝状贈呈



左より目下副町長・服部ひる子委員・成田孝一委員長
飯塚博文職務代理者・山口孝輝委員・齋藤町長

選挙管理委員会委員長に わたなべこうきち 渡部耕吉さんを選任

4月6日で任期満了を迎えた選挙管理委員が、去る3月定例議会において新たに選任され、4月7日開催の選挙管理委員会で委員長および職務代理者が決まりました。

今後4年間、選挙の管理執行にご尽力いただくことになります。

また、退任されました選挙管理委員の方々には、町長より感謝状が贈呈されました。

▶選挙管理委員会委員



左より目黒和宏職務代理者・渡部耕吉委員長・齋藤町長
五十嵐正俊委員・生江一善委員

▶感謝状贈呈



左より目下副町長・齋藤町長・高波和廣前委員長
林出豊信委員長・渡部久一職務代理者・田尻早苗委員

固定資産評価審査委員会委員に たじりさなえ 田尻早苗さんを選任

固定資産評価審査委員会は、固定資産税の課税価格の不服申立てについて審査する機関です。

この度、委員長の高波和廣さん（中村）が4月12日で任期満了となり、後任に田尻早苗さん（杉）が選任されました。

4月13日には、退任となる高波さんに町長から感謝状が手渡されました。また、同日開催の第1回委員会で、新委員長に林出豊信さん（八日沢）、その職務代理者に渡部久一さん（新栄町）が選任されました。

▶選任書交付式



◀新しく委員に選任された田尻早苗さん(杉)

会津坂下町鳥獣被害対策実施隊 辞令交付式



4月2日、町長室において辞令交付式が行われました。隊員の方々が出席し、代表して芥川克己隊長に町長より辞令が交付されました。隊員の任期は2年で、18名の隊員が鳥獣による農作物などに係る被害の防止にあたります。

会津坂下町防霜対策本部を設置



3月25日、会津坂下町防霜対策本部の設置式が行われました。対策本部は町・JA会津よつば農業協同組合・農業共済組合・農事組合長会で構成されており、降霜による農作物被害を防止するための情報発信を行っていきます。



交通安全用品贈呈式を開催

3月26日、新入学児童の交通安全用品贈呈式が町長室にて開催されました。

明るい社会づくり運動両沼地区協議会から黄色い帽子、町交通対策協議会からランドセルカバーや夜行反射シール、会津坂下地区交通安全協会から交通安全腕章や交通安全ワークブック、山内真一さんからは安全を願って作られたミニわらじストラップが贈呈されました。新入学児童を代表して贈呈を受けた大熊一愛さん(青津)は交通安全用品を身に着けました。



◀会津坂下警察署長と敬礼する一愛さん

・ご寄付ありがとうございます！ 国際ソロプチミストばんげ様 10万円・木製遊具4台をご寄付



児童図書購入費10万円と木製遊具をご寄付ご寄贈いただきました。佐竹和代会長は「読書で豊かな心を育ててほしい。また、多くのお子さんに安全な遊具で遊んでほしい。」と述べられました。(木製遊具は子育てふれあいセンター設置)

今年20周年を迎えた同会からは、平成12年3月の設立時より継続してご寄付をいただいております。中央公民館図書室には「国際ソロプチミストばんげ文庫」が設けられています。

日本郵便株式会社と包括連携協定締結



3月26日、会津坂下町・日本郵便株式会社包括連携協定が締結されました。平成23年に防災協定の他2つの協定が締結されていましたが、今回は地域見守り活動、道路破損・不法投棄の情報提供を強化した包括的な内容となりました。会津若松郵便局 須藤紀之の局長、坂下郵便局 山田淳一の局長は「地域の課題解決と安心・安全な生活の実現ため尽力します。」と述べられました。



齋藤町長の / スマイル☺トーク 「風薫る五月」

若葉のキラメキがまぶしい季節になりました。青空の下、広がる田畑、その向こうに里山が見える…そんな日本人の心の原風景がこの町にはあります。

かつて人々は里山とともに暮らし、樹木は家屋などの建材の他、薪や木炭等に利用し、その灰は肥料に、落ち葉は集めて堆肥に、山菜やキノコは山の恵みとして食料にしました。柴刈りや落ち葉掻き、伐採等の手入れもみんなで行い、里山を守り育てていました。一見不便な生活の中でも、身近にあるものを活かしながら生活をする。その営みは、そこに住み、そこに関わる人々の「絆」で維持されてきました。

今、全世界で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、わが町にも暗い影を落とし始めています。こんな時だからこそ、先人の知恵と努力に学び、「みんながつながる」ことで生み出される絆をさらに強め、この難局に立ち向かっていこうではありませんか。



会津坂下町消防団幹部辞令交付式

4月2日、会津坂下町消防団幹部辞令交付式が行われ、幹部を解任・就任された団員に対し、山内真一消防団長より辞令が手渡されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策による春季検閲式の中止に伴い、今季は解任・就任幹部のみが辞令交付を受ける事となりました。

この他、町消防団の活動である夜警においても感染拡大防止対策が採られ、4月5日から25日までの春の火災予防期間、時間・人員など規模縮小での巡回が行われました。

解任：第7分団分団長	笹島 靖典さん
第7分団副分団長	満田 政栄さん（写真上）
庶務班長	谷澤 敏寛さん
就任：第7分団分団長	満田 政栄さん
第7分団副分団長	伊藤 孝洋さん（写真下）
庶務班長	五十嵐大貴さん



会津坂下町の新戦力

4月1日に採用された6人の新採用職員を紹介します!!



あなざわ ちか
穴澤 知佳（新栄町出身）
【子ども課 ばんげ保育所】

生まれ育った大好きな会津坂下町で保育士として働くことができとても嬉しいです。周りの方々にご指導いただきながら、子どもたちと一緒に成長していきたいと思います。

いわはし ももか
岩橋 萌々花（村田出身）
【子ども課 ばんげ保育所】

小さい頃から夢だった保育士になること、また、自身も通ったばんげ保育所で働くことができとても嬉しいです。子どもたちと一緒に成長していけるよう一生懸命頑張ります。

ふなはし かざね
船橋 風音（西会津町）
【教育課 教育総務班】

子どもたちのすこやかな成長のために尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

いがらし すずか
五十嵐 涼夏（喜多方市）
【子ども課 坂下南幼稚園】

今年度から坂下南幼稚園に務めさせていただきます。子どもたちと一緒に成長し、周りの支えてくださる方々に感謝の気持ちを忘れずに日々過ごしていきたいです。

いのまた はるき
猪俣 悠稀（柳町）
【子ども課 坂下南幼稚園】

生まれ育った会津坂下町で、幼稚園教諭として働けることをとても嬉しく思います。明るく笑顔で子どもたちのために一生懸命頑張りたいと思います。

こくぶん みさき
國分 美咲（新町）
【生活課 福祉健康班】

地元である会津坂下町を盛り上げるため、町民の皆様の希望に寄り添った行政サービスを展開できるよう、誠心誠意、業務に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

『光源氏と女君たち』



一般書

石村きみ子／著
図書刊行会

『ムゲンのi』



一般書

知念実希人／著
双葉社

『東大No.1頭脳が教える頭を鍛える5つの習慣』



一般書

水上颯／著
三笠書房

『胸キュン?! 日本史』



児童書

堀口茉純／著
集英社

『植物たちの生き残り大作戦』



児童書

藤井義晴／著
新星出版社

『おかあちゃんがつくったる』



絵本

長谷川義史／作
講談社

募集中

書棚の整理や本の修理をお手伝いいただける図書ボランティアを募集しております。詳しくはお問い合わせください。

中央公民館 教育課 社会文化班 ☎83-3010

おすすめ新着本



『兵隊さんに愛されたヒョウのハチ』

祓川学／作、伏木ありさ／絵
ハート出版

第二次世界大戦中の話です。毎日地獄のような大変な状況の時さえ、優しさを失わなかった日本兵たちがいました。“くじら隊”という歩兵部隊にいた、成岡正久さんが出会った1匹のヒョウの赤ちゃん。“ハチ”と名付けられ、隊員達と次第に心を通わせていく…奇跡の実話です。



『その情報はどこから? ネット時代の情報選別力』

猪谷千香／著 筑摩書房

私たちはインターネットと毎日繋がっています。知らず知らずのうちに行動や考えがインターネットの情報に影響されているかも知れません。たくさんの情報に惑わされないよう、情報を正しく見極める事が重要です。インターネットを利用する上での注意点などが分かりやすく解説されています。

町史編さん

調査余話 (32)

『明治を彩る坂下の名家』

陶朱閣より

戊辰戦争から落ち着き、明治維新による近代国家建設の最中の坂下町の様子を様々な資料から見る事ができます。

その第一段として、明治半ばの『陶朱閣』という資料から経済状況について見てみます。

『陶朱閣』は明治25年に発行された会津管内の巨商豪農を取り上げた番付表で、東西に東を若松市中の、西に若松以外の地域の巨商豪農を取り上げています。当時の経済界の主立った人物が名を連ねており、最上位は大関で若松の森川善兵衛、甲斐吉五郎が東西に位置し、坂下からは行司に加藤佐蔵、勤進元に酒井文右衛門、西の関脇に保志小吉、前頭に赤田彦吉、江川清三郎、江川徳次郎、高久学十郎、上野萬太郎、宮下常十郎、五十嵐吉次郎、猪俣徳四郎、小滝清吉、宇内辰次郎、宇内半十郎、廣木三郎次、高久源右衛門、上野岩吉、五十嵐清平、樋口庄十郎、平野吉作、猪俣徳三郎、猪俣鯛造、山内貞藏、

高久市太郎、佐藤清五郎、堀清之進の名が見えます。

明治16年に三方道路が開通し、明治19年3月に白河、8月に福島、明治24年に東京・青森間を東北線が全通しました。この間、会津地方では中通りの各駅まで産物を搬出し販路を拡大、明治31年7月に若松まで、同37年には喜多方まで磐越西線が開通し益々活況を呈しました。

産業界も生糸、紡績の輸出が盛況で各地に会社が生まれ、坂下町でも養蚕業の進展と、特産である煙草や薬用人参の栽培や輸出も好調で、明治5年(1872)に「商売勝手次第」が発令されて自由に商売ができるようになっていたことから、町の商売は活気を帯びていました。(『会津坂下町史』第3巻 通史編Ⅲ近代・現代、第6巻(上)(下) 近代・現代資料 参照)



問い合わせ

町史編さん室 ☎83-3010